

令和7年度第1回社会教育委員会議定例会（第33期） 会議録

会議名（審議会等の名称）		令和7年度第1回社会教育委員会議定例会（第33期）
開催日時		令和7年4月21日（月曜日）午後3時30分～午後5時00分
開催場所		文化創造拠点シリウス6階 生涯学習センター601 講習室
出席状況	委員	9人：大川委員、小早川委員、小森委員、齋藤委員、中村委員、中山委員、長谷部委員、藤倉委員、丸田委員
	関係各課	6人：健幸・スポーツ部長、文化振興課長、図書・学び交流課長、スポーツ×ライフ課長、こども部長、こども青少年みらい課長
	事務局	3人：図書・学び交流課学び交流係長、同係員2人 学び交流係（259-6104）
	傍聴人数	0人
公開・非公開の状況		☒ 公開 ☐ 非公開 ☐ 一部非公開
非公開・一部非公開の場合はその理由		
審議又は検討経過及び結果		1 会議次第 （1）開会 （2）報告事項 1）令和7年度社会教育関係の主要な事業について （3）協議事項 1）令和7年度社会教育関係団体への補助金について 2）令和7年度社会教育委員会議から選出する委員について 3）令和7年度社会教育委員に関する研修会等について （4）その他 （5）閉会 2 審議及び結果 主な内容は次のとおり <開会> <議長あいさつ> <関係各課紹介> <事務局から配布資料の確認> <報告事項> 「1）令和7年度社会教育関係の主要な事業」について、担当課（文化振興課、スポーツ×ライフ課、図書・学び交流課、こども青少年みらい課）より報告。 （議 長）担当課からの報告に対し、質問等があればお願いしたい。 （委 員）今年度はプール開放を実施しないという報告があったが、実施しない理由を聞きたい。また、昨年度までは実施していたのか。 （市 ）昨年度までは実施していた。実施しない理由としては、まず、安全面において、プールの中や移動中の熱中症リスクがある。次に、利用者もそれほど多くない。実施していない学校から実施している学校に行く人がどれほどいるのかを確認したが、あまり多くないことが分かった。プール開放にかかる費用も考慮し、令和7年度は実施しないこととした。

- (委 員) 全国的に中学校で水泳指導がなくなっているという動きがあるようだが、大和市はどのような状況か。
- (市) つきみ野中、光丘中、渋谷中の３校は学校にプールがあるので、学校で授業を実施している。
- (議 長) 他に質問等がなければ、報告事項なのでこれで締めさせていただきます。

<協議事項>

「１）令和７年度社会教育関係団体への補助金」について、担当課(図書・学び交流課、こども青少年みらい課)より説明。

(議 長) 事務局からの説明に対し、質問等があればお願いしたい。

(委 員) ＰＴＡについて、先日相模原市が日本ＰＴＡ全国協議会から脱退するというニュースがあった。全国的に上部組織からの脱退や加入についてなど、ＰＴＡの問題について取り沙汰されているが、大和市における県Ｐに対する動きや加入率などの状況を教えていただきたい。

(市) 大和市の市Ｐ連が県の組織から脱退することについては、現段階では聞いていない。また、加入率については市では把握していない。

(議 長) 学校現場にいる委員から意見はあるか。

(委 員) 地域によってはＰＴＡが組織されない状況になりかねないところもあるようなので、今後ＰＴＡがある学校が減ると、市からの補助金も減っていくのではないか。

(市) 図書・学び交流課としては、社会教育関係団体の求めに応じ、指導または助言を与えることができると法律上位置づけられているため、基本的には任意団体の自主的な活動を支援する立場である。

(委 員) 社会教育主事や社会教育士が団体に赴いて指導助言していくということが大事だと思うが、当然団体からの要請がないとできないので、なかなか難しい。補助金を出している関係上、しっかりと見ていただきたいと思う。また、ＰＴＡでは研修を実施していると思うが、どのような講師を呼んだらいいかということや社会教育主事や社会教育士が助言できるような場づくりができるといいのではないか。ＰＴＡは縮小していく傾向ではあるが、補助金を出す関係上、指導助言して団体育成のサポートをしていただければありがたい。

(委 員) 母親クラブは会員が高齢化していて、イベントなどで見かけても若い人がいない。

(委 員) 地域婦人団体が高齢化して無くなっていき、反対に若い母親クラブが活性化している時期があった。

(委 員) 自治体によっては、母親クラブはカッコ書きにして、子ども未来ネットワークというような名称にしているケースもある。

(委 員) なかなか後継者がいないのかもしれないが、とても頑張って活動してくださっていると思う。

(委 員) 青指、市子連、母クは、やまと市民まつりに出店していると思

うが、事業収入は特に考えていないのか。

(市) 3 団体それぞれに市民まつりの委託金を支払っているが、その中で事業を行うということで、収益については考えていない。子どもたちに還元をすることを目的とした活動となっている。

(委 員) それも一つの奉仕活動ということでもいいことだが、自分達の団体を伸ばしてくにあたり、補助金ばかりでは全然自立しない。事業収入をどうしていくのかということも当然考える必要がある。そういう点でも社会教育主事や社会教育士がそういった団体へ指導助言しながら自立を促していかないといけない。自分たちの団体をどのように生かしていけるのかということを考え、事業収入なりを自分達で得ようという意識が芽生えることが本来の姿ではないかと思う。

(委 員) P T A、子ども会、母親クラブについては、女性の社会進出を国が進める中で、なかなかそういった活動に参加しづらくなってきている家庭の状況があると思う。自分が勤めていた保育園の保育士は、子ども会の役員をやらなければならないからすごく大変だと言っていた。社会の在り方が変わっていく中で、こういった社会教育関係団体の活動のあり方については、これから考えていかなければならないと思う。それぞれの団体で工夫しなければならないこともあるし、市の施策としてもこれまでと発想を変えていかなければならないのではないかな。大磯町の地区研究会でも子ども会の人数が少なくなっているという話があった。子ども自身がそういった活動に参加する意識が低くなっていたり、あるいは参加したいけど習い事があつたり、親がサポートできなかったりということもあるのではないかな。それぞれの担当課が頭を悩ましているところかと思うが、現代的な課題であると思う。

(市) 子ども会の活動や青少年指導員のイベント等がコロナ禍で一旦中断をしたことは大きな影響だと思っている。子ども会の会員についてはコロナ禍で行事がストップし、市子連に加入する単位子ども会が一旦減ったが、活動を再開したところもあり、令和5年度は24団体だったが、令和6年度以降は25団体となり、少しだが増えている。子ども会や、それぞれの団体の現代的なあり方というのを我々も考えていかなければならないと思っている。

(委 員) 青少年指導員は現在何人いるのか。

(市) 現在は89人である。

(委 員) 報酬は出るのか。

(市) 年額36,500円の謝礼を出している。

(委 員) 活性化会議には補助金が出るのか。

(市) 大和市家庭・地域教育活性化会議推進委員会をとおり、9地区の活性化会議それぞれ153,000円、合計1,377,000円を交付している。また、地域青少年健全育成を担う3地区に対し、それぞれ51,000円を交付している。

(委 員) 活性化会議は社会教育関係団体と位置付けていないのか。

(市) そのとおりである。

(委 員) なぜ社会教育関係団体に位置付けていないのか。

(市) 明確な回答ができないので、後日回答させていただく。

※回答→ 家庭・地域教育活性化会議は、神奈川県の実情に応え、中学校区に設立されていた既存の協議会を発展的に解消して設立した経緯があり、市と連携しながら事業を行っているため、社会教育関係団体にはあたらないと認識している。また、補助金の対象は、団体の運営費ではなく、団体が行う青少年健全育成活動事業としている。

(委 員) 承知した。おそらく社会教育関係団体ではなく協議会という位置付けになっているのではないだろうか。

(議 長) 他に質問は無いか。無ければ今年度の社会教育団体への補助金について承認してよいか。

(委 員) 異議なし。

～休憩～ (関係各課退席)

～再開～

「2) 令和7年度社会教育委員会議から選出する委員」について、事務局より説明。第33期社会教育委員の任期が5月までであるため、次回定例会にて次期社会教育委員による互選により決定予定。

① 文化芸術活動支援補助金選考会議委員

(任期1年：令和7年6月1日～)

② 青少年問題協議会委員 (任期2年：令和6年6月1日～)

③ 子ども読書活動推進会議委員 (任期3年：令和6年6月1日～)

④ 神奈川県社会教育委員連絡協議会理事

(任期1年：令和7年6月1日～)

⑤ 文化創造拠点等運営審議会委員 (任期2年：令和6年9月1日～)

「3) 令和7年度社会教育委員に関する研修会等」について、事務局より説明。第33期社会教育委員の任期が5月までであるため、次回定例会にて次期社会教育委員による互選により決定予定。

① 県社会教育委員連絡協議会総会 (令和7年6月9日)：全員

② 県社会教育委員連絡協議会研修会 (令和7年9月1日)：2人

③ 社会教育委員連絡会議 (令和7年10月17日)：2人

④ 第56回社会教育研究大会神奈川大会1日目【全大会】

(令和7年11月20日)：全員

⑤ 第56回社会教育研究大会神奈川大会2日目【分科会】

(令和7年11月21日)：全員

⑥ 知ることからはじめる人権啓発研修講座 (令和7年11月26日)：2人

⑦ 県公民館連絡協議会第67回県公民館大会 (令和8年1月23日)：2人

<その他>

第 56 回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会に向けた広告協賛金募集活動について

(市) 神奈川県社会教育委員連絡協議会会長で、第 56 回関東甲信越静社会教育研究大会神奈川大会実行委員会委員長より依頼がきている。大会当日に配るパンフレットに掲載する協賛広告を募集するので、ご協力いただきたいという趣旨である。具体的には、各市町村の社会教育委員が趣意書等の資料をもとに県内の団体、企業、個人に対し、社会教育委員の役割や大会の趣旨等を説明し、大会への賛同を得ながら広告協賛金の募集活動を行っていただきたいということである。あくまでも無理のない範囲でお願いしたい。パンフレットへの協賛広告等の掲載については、金額に応じて掲載スペースの大きさが変わる。その他詳細については、配布資料をお読みいただきたい。

(議 長) 大会実行委員会の広報部会で協賛金について取りまとめを行うこととなっている。大和市は広報部会の部会長である。前回の神奈川大会（平成 26 年度）では、協賛金の目標金額が全体で 100 万円だった。大和市では社会教育委員で出し合うということになり、大和市社会教育委員会議の広告を掲載した。今回は協賛金を集めなくてもいいように県が毎年積み立ててきたが、それでも予算が足りないとのことである。どなたか知り合いの方でご賛同いただける方がいればありがたい。無理のない範囲で構わないので、社会教育委員の皆様にご協力いただきたい。

次回の日程について

(市) 次回は令和 7 年度第 2 回定例会を 7 月に開催予定である。次回開催については、教育長にも出席いただき、第 34 期の委嘱式を行う。日程は 7 月 3 日（木）、4 日（金）、7 日（月）のいずれかで出席可能委員の多い日にしたいと考えている。開始時刻は、いずれも午後 3 時 00 分からを予定している。場所はシリウス 6 階、生涯学習センター 601 講習室で行う。

～各委員に確認～

7 月 3 日（木） 欠席 1 名

7 月 4 日（金） 欠席 1 名

7 月 7 日（月） 欠席 0 名 ←第 1 候補日

本日欠席の 1 名及び、新任委員にも後日確認し、日程が決まり次第ご連絡する。事務局からは以上である。

今期で任期満了の方のご挨拶

中村委員、長谷部委員

以上で議事を終わる。

<閉会>

会議資料	・令和 7 年度社会教育関係の主要な事業 ・令和 7 年度社会教育関係団体への補助金 ・社会教育関係団体の令和 6 年度事業報告・決算報告（4 団体）、令和 7 年度事業計画・予算（3 団体） ・令和 7 年度社会教育委員会議から選出する委員 ・令和 7 年度社会教育委員に関する研修会等
-------------	--